



## 花巻市博物館特別展

# 「佐川美術館コレクション 平山郁夫展」を開催します

～9月6日から11日3日まで開催～

日本画壇を代表する画家で文化勲章受章者の平山郁夫（ひらやま いくお）（1930～2009）は、広島県に生まれ、戦争や被爆の体験をきっかけに平和への祈りを制作に込め、仏教伝来やシルクロードを生涯のテーマとして描き続けました。また、失われゆく世界中の貴重な文化遺産を守るため、文化財赤十字構想を提唱し、中国やアフガニスタンなど各地の文化財保護活動に尽力しました。

本展では、滋賀県の佐川美術館の所蔵作品から、悠久の歴史に彩られたシルクロードを主題に平山が描いた作品57点を紹介します。シルクロードを150回以上も旅をしながら描いた作品の数々、平山芸術の精華をお楽しみください。

## 1 特別展の概要

- 開催期間 9月6日（土）～11月3日（月・祝）  
午前8時30分～午後4時30分  
※9月6日・13日・20日・27日の土曜日は午後6時まで開館延長  
（入館受付は午後5時30分まで）
- 開催場所 花巻市博物館 企画展示室
- 入館料 通常料金で観覧できます。  
一般350円／高校生・学生250円／小・中学生150円  
※20名以上の団体は、上記金額から50円引きとなります。

### ■展示内容

- 第1章 シルクロードはじまりの地 ヨーロッパ～西アジア  
平山が生涯を通じてライフワークとした旅を始めるきっかけとなったヨーロッパから西アジアを描いた作品を紹介。
- 第2章 文明の十字路 中央アジア～南アジア  
東西文化が交わり、悠久の歴史を物語る中央アジア・南アジアを舞台とした作品を紹介。
- 第3章 西域  
古代都市・楼蘭、世界最大規模の仏教遺跡・敦煌など、厳しい自然環境のもと、独自の文化が育まれた西域の光景を描いた作品を紹介。
- 第4章 悠久の大地 中国  
仏教に救いの道を求めた平山の画業を支え続けた悠久の大地・中国の作品を紹介。
- 第5章 シルクロードの終着点 日本  
四季折々の表情を見せる自然や寺院の姿を中心に、ふるさと日本の風景を紹介。



### 平山郁夫

1930年6月15日、広島県瀬戸田町生まれ。日本画家。1952年に東京美術学校（現東京藝術大学）を卒業後、前田青邨に師事し、主に院展を舞台に活動。戦時中の広島での被爆体験がきっかけとなり、「平和を祈る心」を仏教伝来の道シルクロードに重ね合わせ、1968年以来「シルクロードシリーズ」を描き続ける。2009年12月2日、79歳で永眠。

## 2 関連イベント

### ◆記念講演会①「平山郁夫と文明の十字路バーミアン」

講師：高橋信雄氏（花巻市博物館前館長） 定員：30名（先着順）  
日時：9月7日（日）午後1時30分～3時 参加費：無料  
場所：講座体験学習室

### ◆記念講演会②「平和を祈り描き続けた画家・平山郁夫—その画業と生涯」

講師：藤井康憲氏（佐川美術館学芸員） 内容：講演と展示解説を行います。  
日時：10月4日（土）午後1時30分～3時 定員：30名（先着順）  
場所：講座体験学習室・企画展示室 参加費：無料

### ◆成島和紙ランプシェードによる夕暮れライトアップ

本展の開催期間中、夕暮れ時から当館エントランス周辺と館内において、成島和紙ランプシェードによるライトアップを行います。

〔協力：成島毘沙門夢灯りプロジェクト 代表 赤津有美氏〕



### 【記念講演会申込方法】

- ▶ 下記申込フォームまたはお電話にて花巻市博物館までお申込みください。
- ▶ 開催日1か月前から申込可能。なお、定員になり次第受付を終了します。



記念講演会①



記念講演会②

【問い合わせ】 担当：花巻市博物館 電話：32-1030